

〇〇〇〇〇 A面談 帝国H

一、戒壇之御本尊之件

戒壇の御本尊の件は偽物である。

種々方法の筆跡鑑定の結果解った（字画判定）

多分口は法道院から奉納した日禪禊子の本尊の
題目と花押を授字し、その他は好師が有師の
筆の筆事と

日禪禊子の本尊に授字の形跡が残っている

一、Gは阿部に對する

人稱を甲、法序を甲、筆事合して左様の京由の

事ではGは不可能

一、Gは字合と一手さやうでも又二三年したう一えにま

るだらうと云う安易な考へは持てない

一、

日禪禊子の本尊は、初め日禪に於つたが此の

誂が、あるに去し、それを好師が何処で授字して

購入したもの（弘安三年の御書面）

河辺メモ

S53.2.7 A面談 帝国H

一、戒壇之御本尊之件

戒壇の御本尊のは偽物である。

種々方法の筆跡鑑定の結果解った（字画判定）

「A面談」の“A”は阿部を指し、「帝国H」は面談の場所、帝国ホテル
当時の大石寺教学部長であった阿部日頭が戒壇本尊について筆跡鑑定の結果偽物だと判明し
たというもの。